

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】令和1年8月8日(2019.8.8)

【公表番号】特表2018-526815(P2018-526815A)

【公表日】平成30年9月13日(2018.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2018-035

【出願番号】特願2017-566394(P2017-566394)

【国際特許分類】

H 01 G 4/32 (2006.01)

H 01 G 4/33 (2006.01)

H 01 G 4/14 (2006.01)

C 08 J 7/04 (2006.01)

【F I】

H 01 G 4/32 301Z

H 01 G 4/33 101

H 01 G 4/32 511D

H 01 G 4/32 511L

H 01 G 4/33 102

H 01 G 4/14

C 08 J 7/04 CESZ

C 08 J 7/04 CF D

【手続補正書】

【提出日】令和1年6月24日(2019.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コイル状のコンデンサであって、
可撓性多層テープで形成されたコイルと、

コイルのバット上に位置する第1の終端電極(第1の接触層)および第2の終端電極(第2の接触層)と
を備え、

可撓性多層テープは以下の順で、第1の金属層、プラスチックの層、第2の金属層、エネルギー蓄積材料の層、および第2の金属層を含み、

前記第1の金属層は、オミック接触を前記第1の終端電極と形成し、前記第2の金属層は、オミック接触を前記第2の終端電極と形成する
ことを特徴とする。

【請求項2】

その周りに前記可撓性多層テープが巻かれた誘電体コアをさらに備える、ことを特徴とする請求項1に記載のコイル状のコンデンサ。

【請求項3】

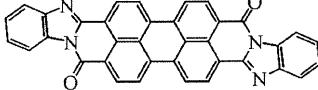
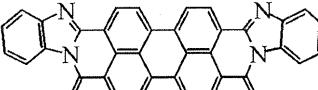
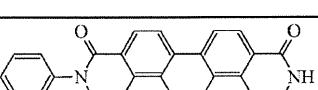
前記エネルギー蓄積材料が、リレン断片を含む、ことを特徴とする請求項1に記載のコイル状のコンデンサ。

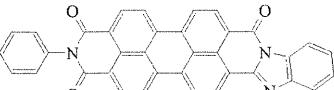
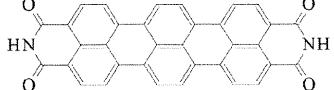
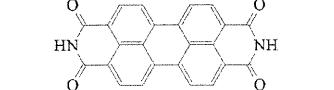
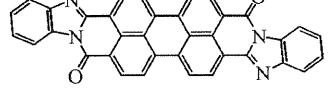
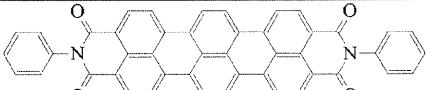
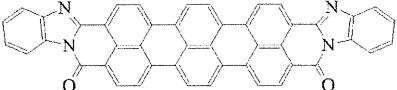
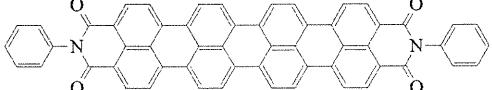
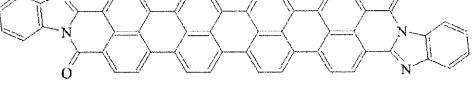
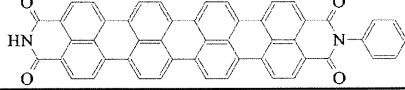
【請求項4】

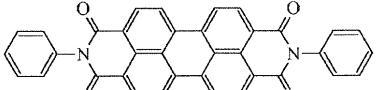
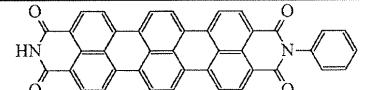
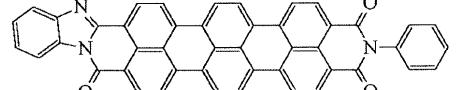
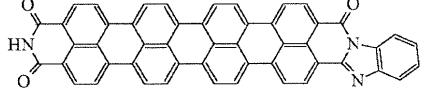
前記リレン断片が、構造1～21から選択される1つ以上の構造を含む、ことを特徴と

する請求項 3 に記載のコイル状のコンデンサ。

【表 1】

| | |
|---|---|
|  | 1 |
|  | 2 |
|  | 3 |

| | |
|---|----|
|  | 4 |
|  | 5 |
|  | 6 |
|  | 7 |
|  | 8 |
|  | 9 |
|  | 10 |
|  | 11 |
|  | 12 |
|  | 13 |
|  | 14 |
|  | 15 |

| | |
|---|----|
|  | 16 |
|  | 17 |
|  | 18 |
|  | 19 |
|  | 20 |
|  | 21 |

【請求項 5】

前記エネルギー 蓄積材料が、ド ブされたオリゴアニリンおよび p オリゴ フェニレンから選択される、ことを特徴とする請求項 1 に記載のコイル状のコンデンサ。

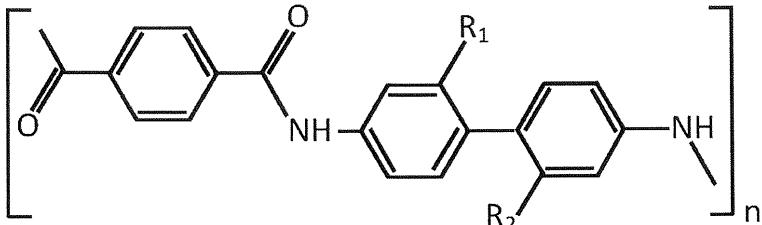
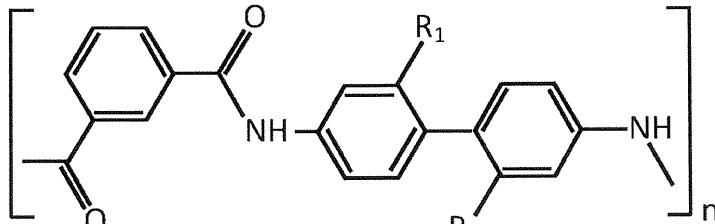
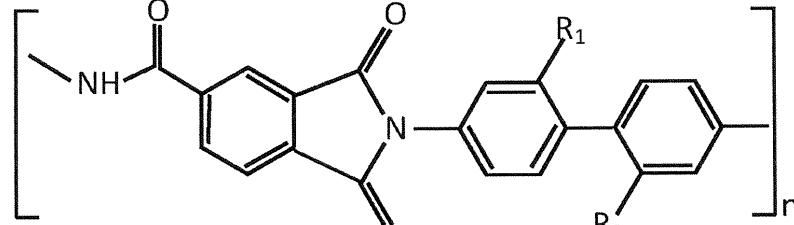
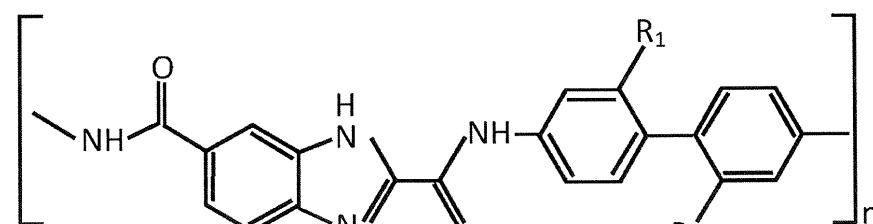
【請求項 6】

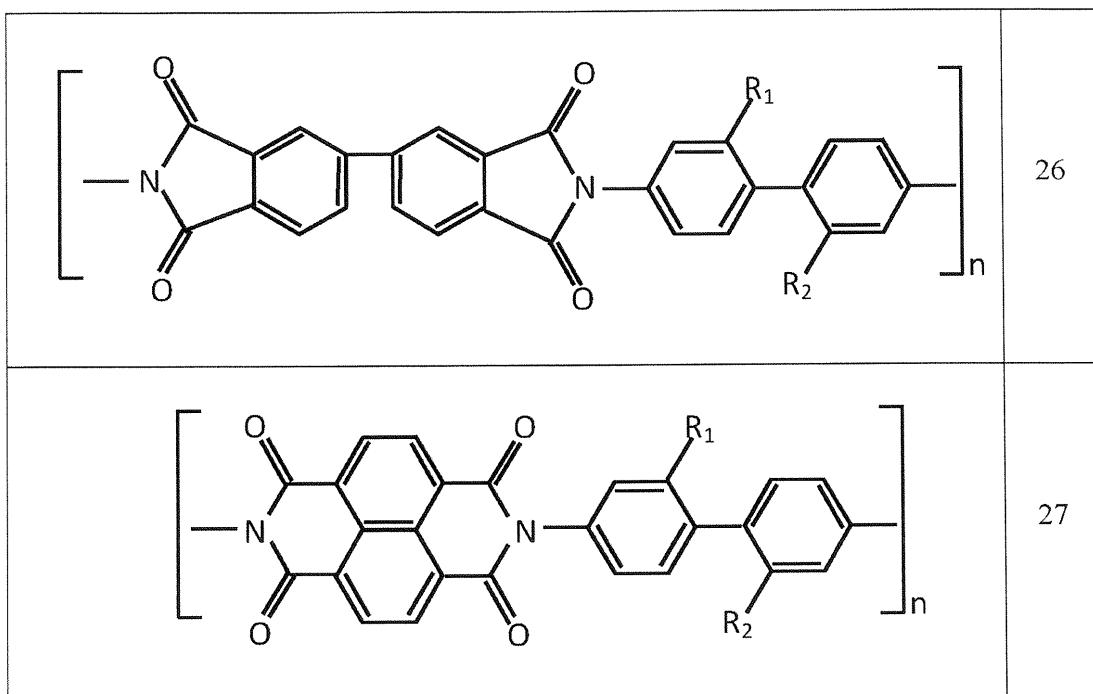
前記エネルギー 蓄積材料が、有機溶剤に可溶なポリマ 材料を含む、ことを特徴とする請求項 1 に記載のコイル状のコンデンサ。

【請求項 7】

前記ポリマ 材料が、構造 22 ~ 27 から選択される 1 つ以上の構造を含み、

【表 2】

| | |
|--|----|
|  | 22 |
|  | 23 |
|  | 24 |
|  | 25 |



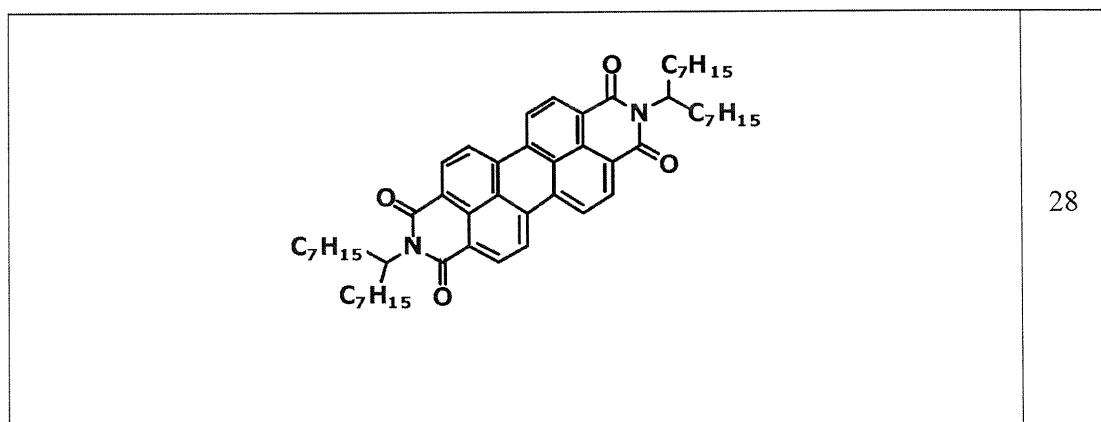
各 R_1 および R_2 は、アルキル、アリル、置換アルキル、および置換アリルから独立して選択される。

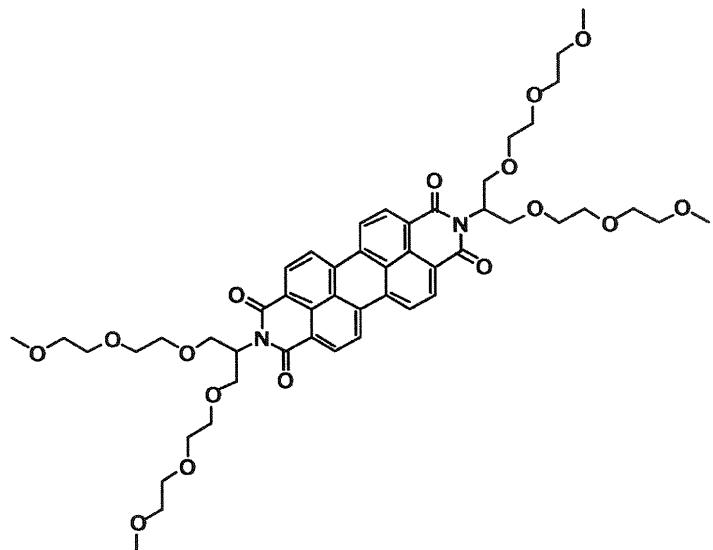
ことを特徴とする請求項 6 に記載のコイル状のコンデンサ。

【請求項 8】

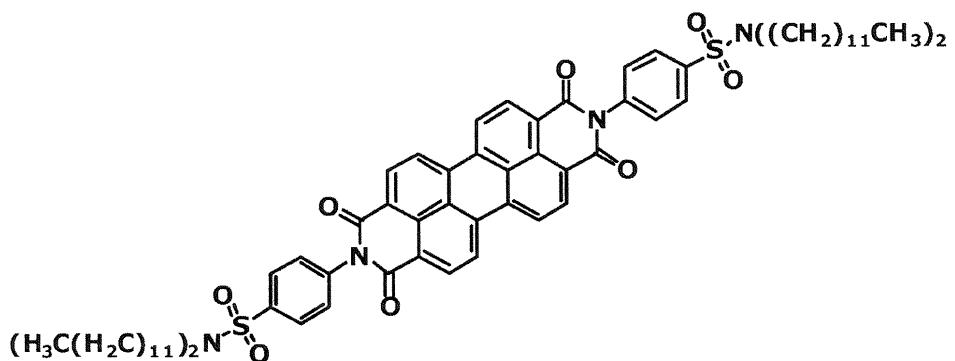
前記エネルギー蓄積材料が、構造 28 ~ 62 から選択される 1 つ以上の超分子構造を含む材料を含む、ことを特徴とする請求項 1 に記載のコイル状のコンデンサ。

【表 3】

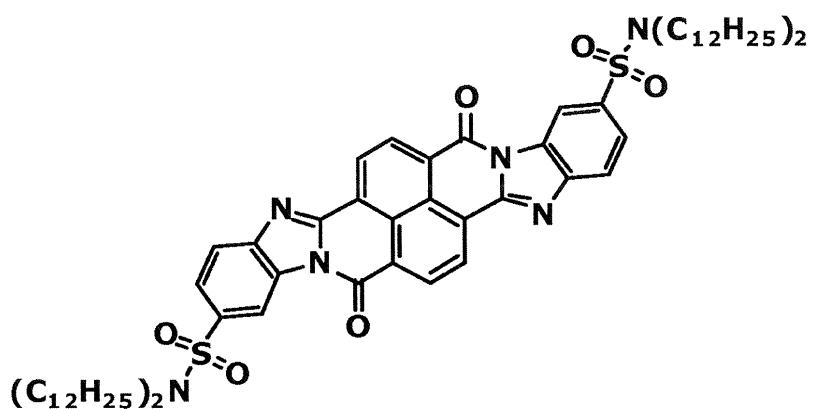




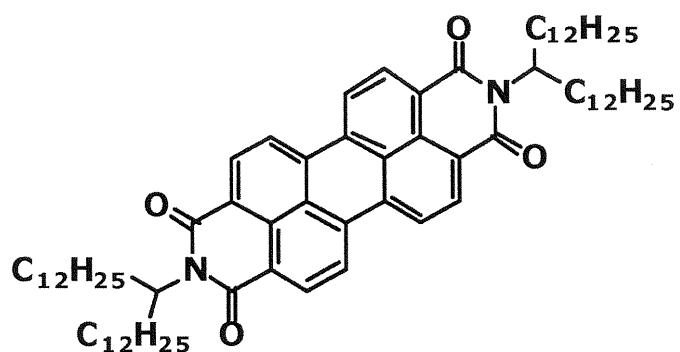
29



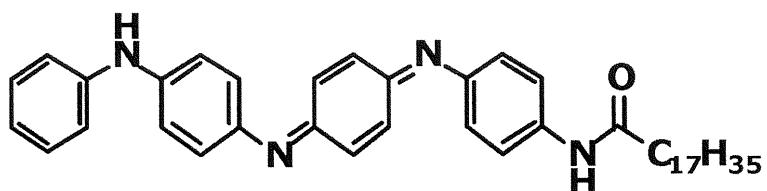
30



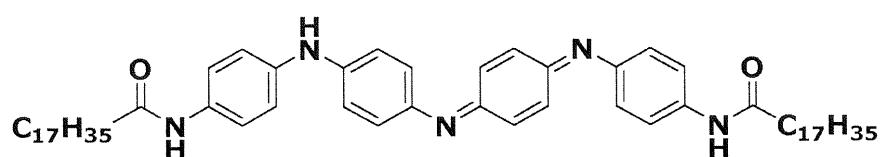
31



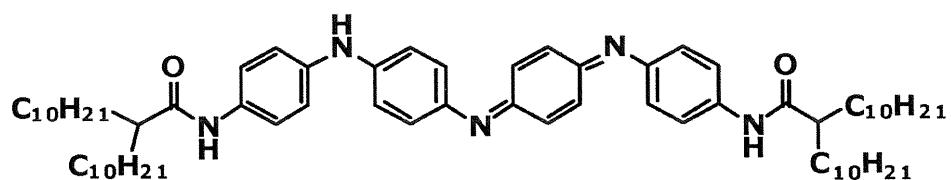
32



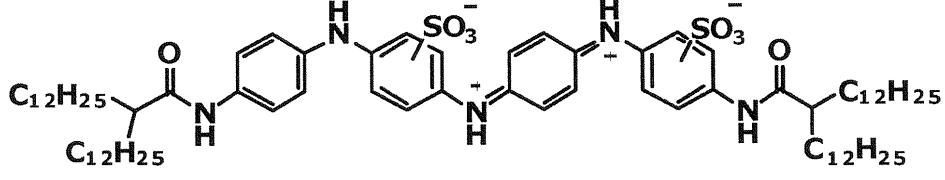
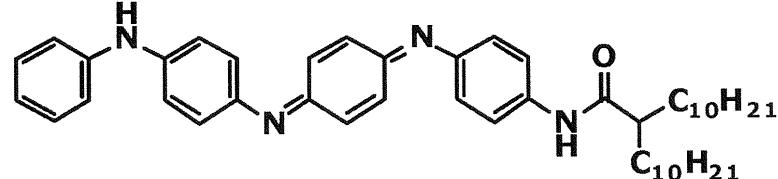
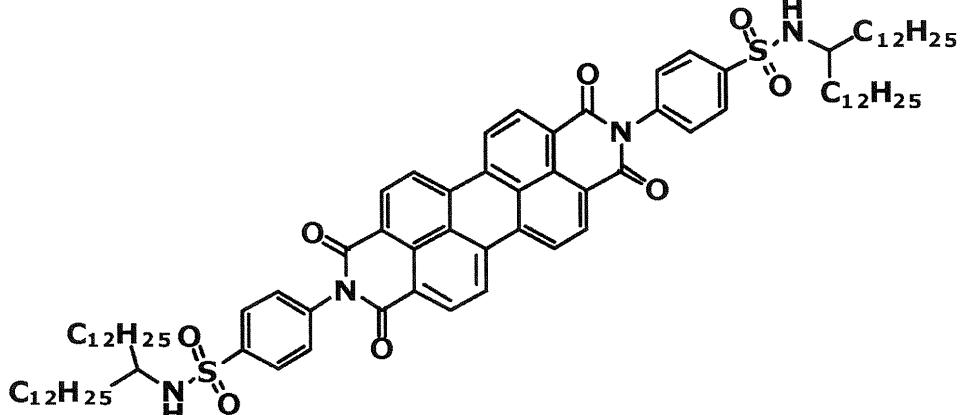
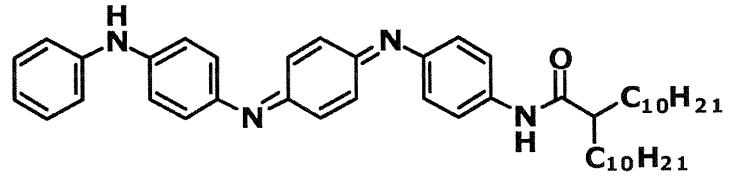
33

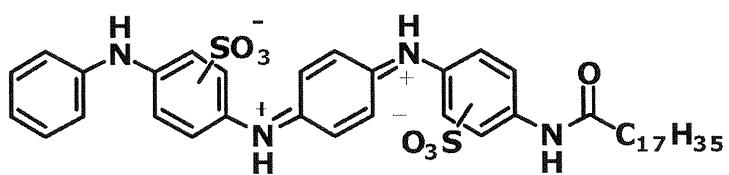


34

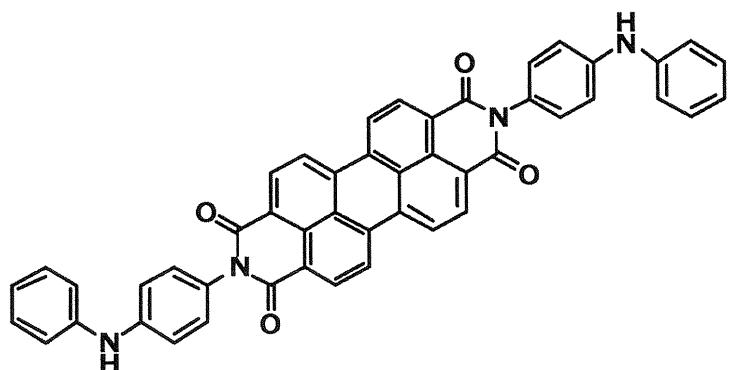


35

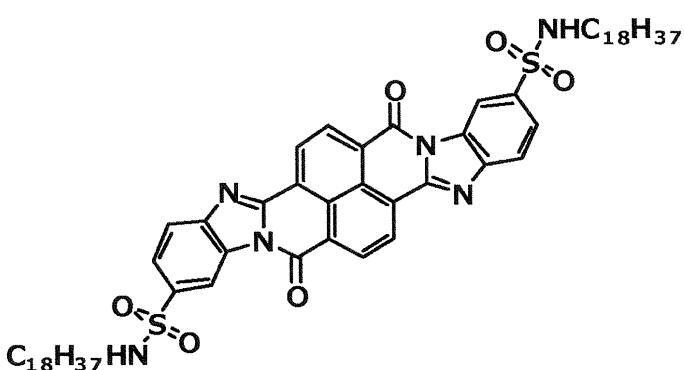
| | |
|--|----|
|  | 36 |
|  | 37 |
|  | 38 |
|  | 39 |
|  | 40 |



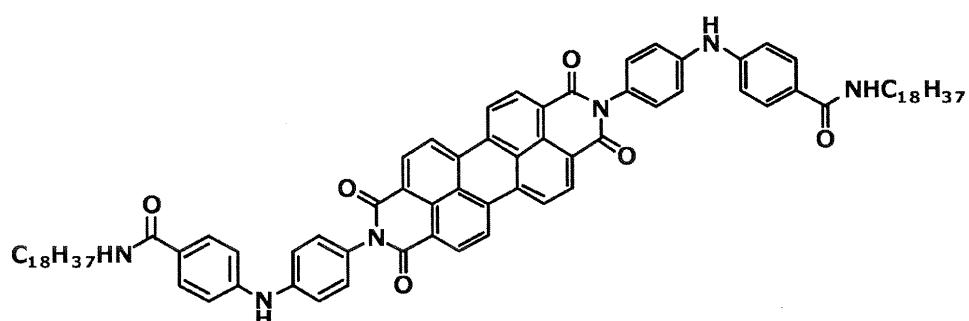
41



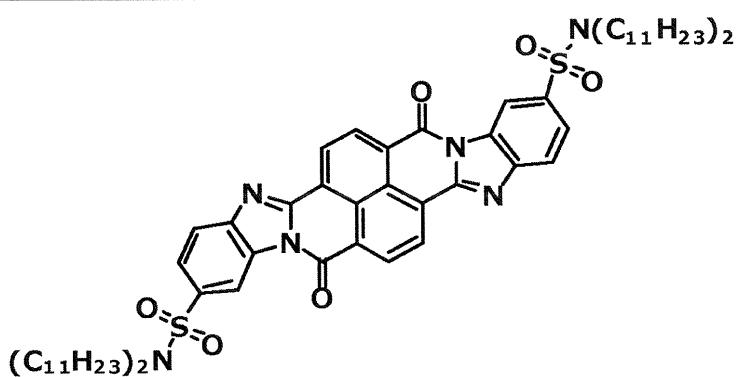
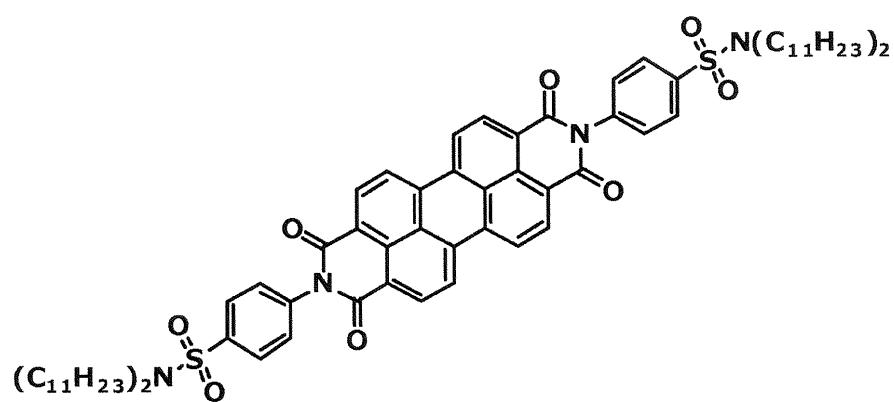
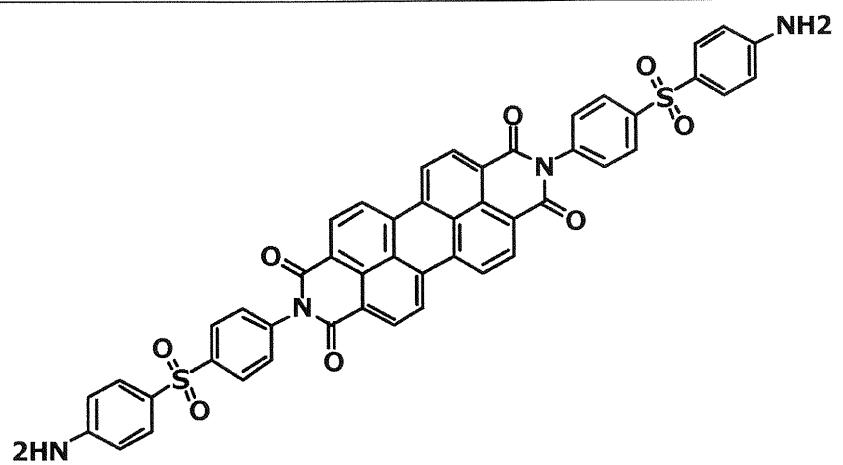
42

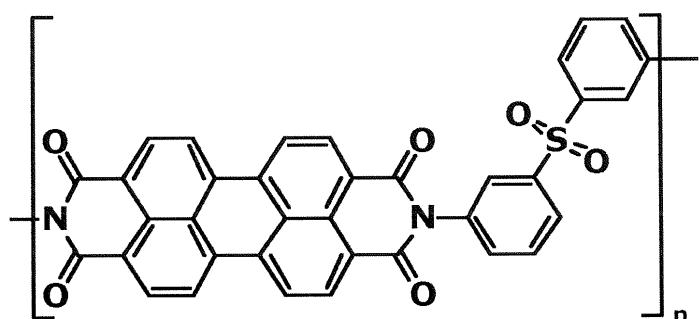
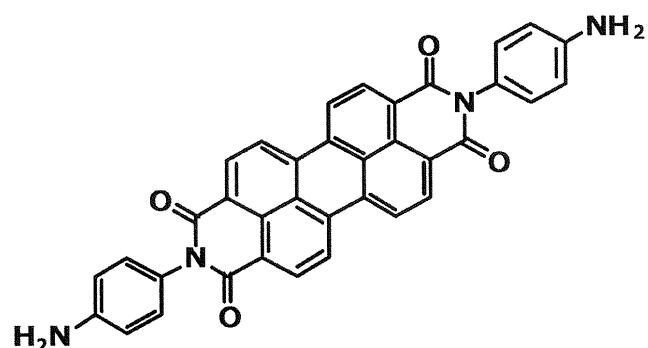
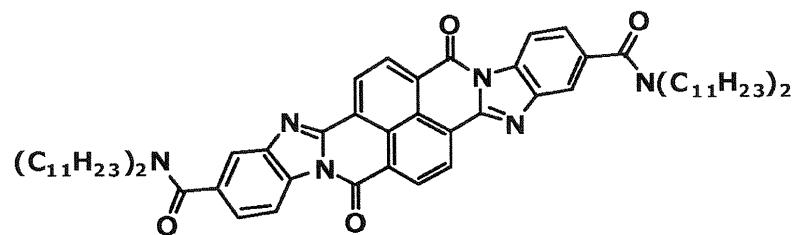


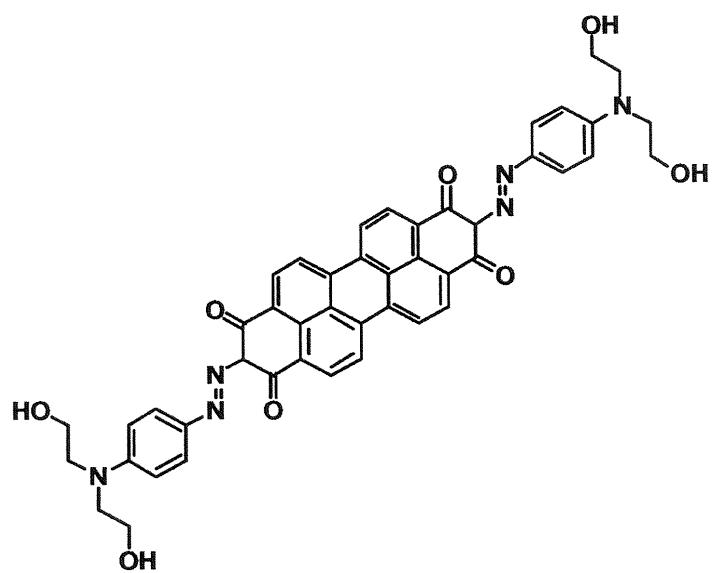
43



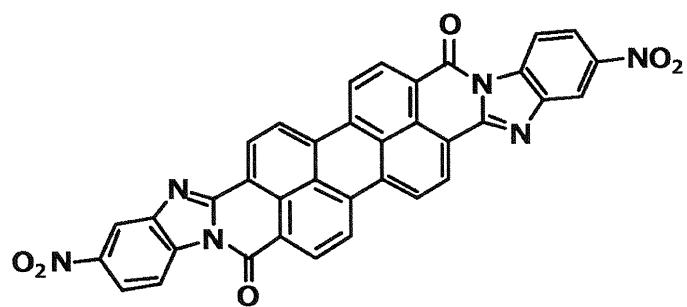
44



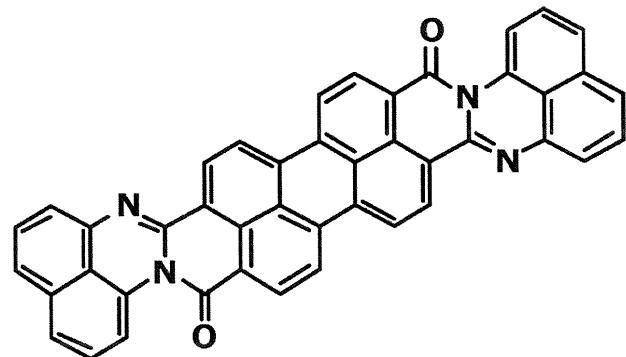




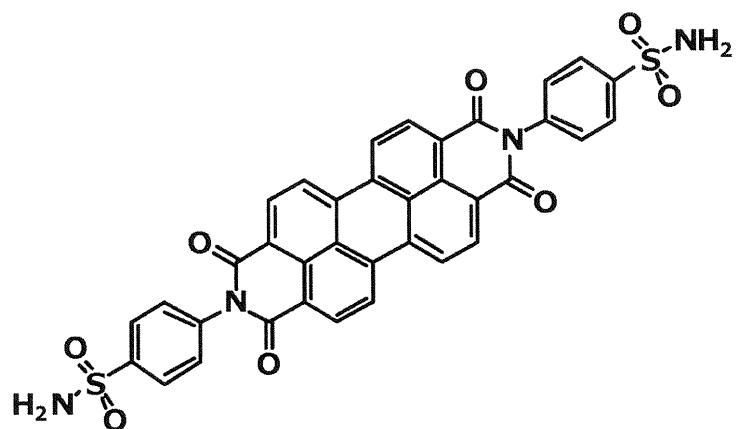
51



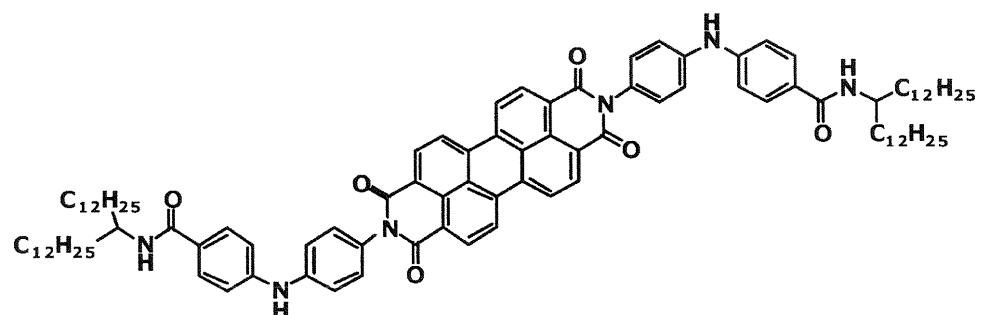
52



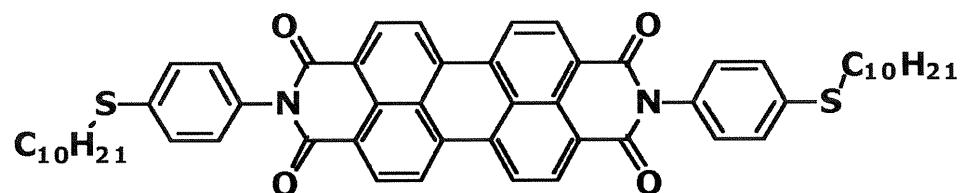
53



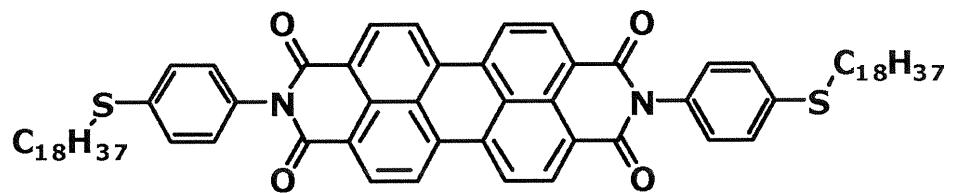
54



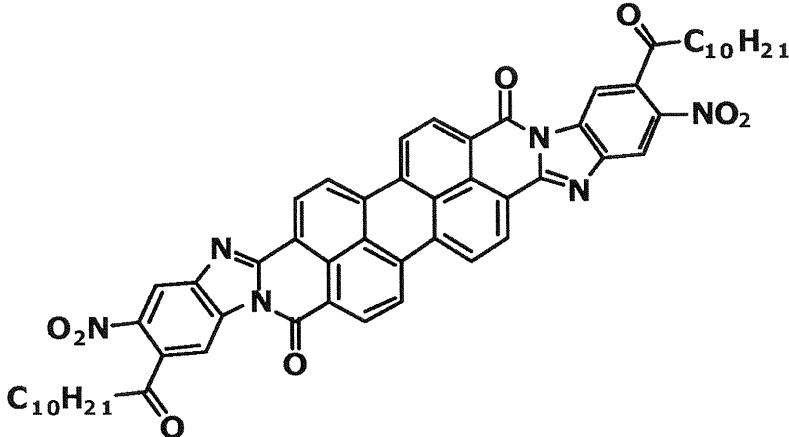
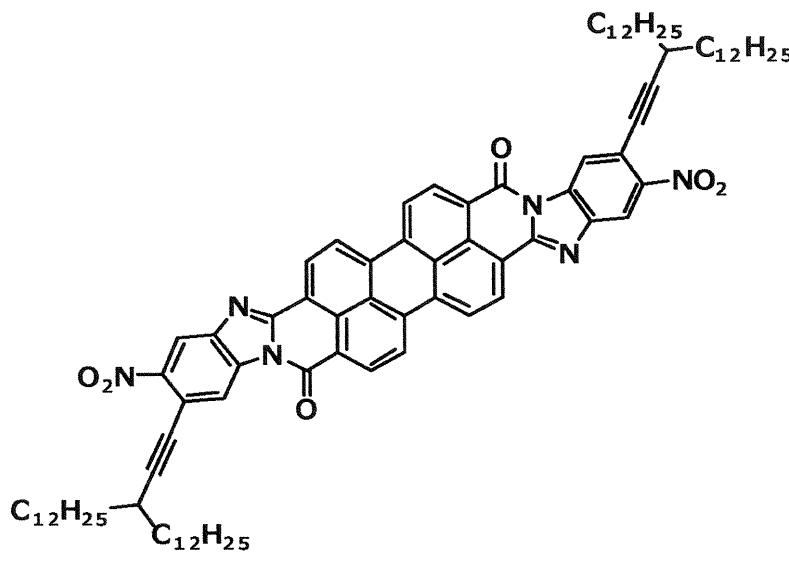
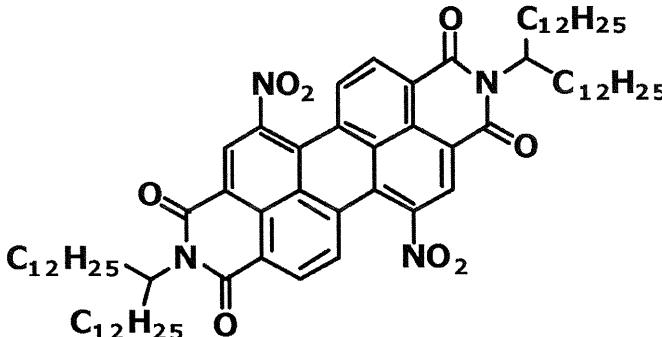
55



56



57

| |
|--|
|  <p>58</p> |
|  <p>59</p> |
|  <p>60</p> |

| | |
|--|----|
| | 61 |
| | 62 |

【請求項 9】

前記エネルギー蓄積材料は、絶縁体マトリックス中に導電異方性粒子の分散体（懸濁体）を有するコロイド複合体を含む、ことを特徴とする請求項1に記載のコイル状のコンデンサ。

【請求項 10】

前記第1の金属層は、前記プラスチックの層の第1の表面の一部に堆積され、この第1の表面は、堆積された金属を含まない第1のマジン部分を有し、前記第2の金属層は、前記プラスチックの層の第2の表面の一部分に堆積され、この第2の表面は、堆積された金属がなく、かつ前記第1のマジン部分に対して前記プラスチックの層の反対側の縁に位置する第2のマジン部分を有する、ことを特徴とする請求項1に記載のコイル状のコンデンサ。